

学校だより

小中一貫教育を目指して

（春日小学校）

春日小中学校が連携しての小中一貫教育の推進がはじまって4年目となりました。大上段に構えたり、数多くのことを求めすぎたりせず、目の前の春日の子どもたちをどう変えていくかを大切にすることです。本年度は、「自信を持って意欲的に追究する児童生徒の育成」を研究主題とし、次の二つの具体的な願う子どもの姿をめざして研究を進めてきました。

- ① 自分の考えを素直に出し合い、ねり合いのある姿
- ② 進んであいさつができ、相手の立場を考えて行動する姿

聞くこと、話すこと

①の学習面での願う姿の具現に向け、まずは聞くこと、話すことの2点を重視した学習姿勢づくりに全力をあげてきました。

自己表現は、相手の話を聞くことからはじまります。聞くことで自分の思いや考えが生まれ、そして、何よりも相手を大切に



することに繋がります。また、話す



ことについても同じです。言葉遣いや話し方など、ちよっとした違いで相手への伝わり方が大きく違います。つなぎ言葉の活用やペアー学習など、多くの手だてを工夫しながら、大勢の人前でも堂々と自分の思いを語れる春日の子どもたちをめざして取り組んでいます。

あいさつができること

②の生活面での願う姿の具現に向けては、子どもたちによるあいさつ運動を通じた意識づくりを大切にしてきました。

いつでも、どこでも、誰にでもあいさつができること、簡単なようでも難しいことです。あいさつは大切と理解していてもできない現実、まさに学校のみならず、普段の生活での意識や慣れも大きな鍵を握っているような気がします。あいさつのよさを啓発し、自然に身につけていくよう、私たちの意識の改革とねばり強い働き



であるということを感じています。

体験を重視した教育の推進

（春日中学校）

春日中学校は全校生徒が34名、教職員が10名と小規模の学校ですが、広い視野で物事を見たり、自信を持てるようにしたりしていきたいという願いから、交流活動やボランティア活動、総合的な学習などで様々な体験的活動を取り入れています。

○宿泊研修体験学習の充実と身近な地域でのボランティア活動の推進

宿泊研修では、1・2年生は若狭で漁業体験をしたり、民宿の方のお話を聞いたりしました。3年生は東京への修学旅行で職場学習を行い美容専門学校への体験入学や飛行機の整備工場の見学をしました。ふだん自分たちの地域では体験できない仕事や職業に触れる機会を持つ中で、将来への意識が高まればと考えています。



また、春日モリモリまつりでは地域の一員として祭りを盛り上げようと、バザー販売の手伝いや会場のゴミの分別回収などのボランティアに多くの生徒が積極的に参加しました。

○揖斐川中学校との交流活動

今年度から揖斐川中学校との交流活動を行っています。11月15日（水）の午後に揖斐川中学校の3年1組のみなさんが来校し、合唱を通して交流を行

いました。お互いの合唱を聴き「少ない人数だけどその分一人一人の声がよく出ていた。」「強弱や速さを工夫し、自分たちの合唱を表現しているのがよかった。」など、お互いの良さを話し合う場とすることができました。



○ふるさと未来学習発表会

11月2日（木）に、今年度の3年生の総合学習の時間のまとめと、1・2年生の合唱の発表会「ふるさと未来学習発表会」を行いました。学校評議員の方をはじめ、保護者の方や地域の方も参観いただき、惜しみない声援を送ってくださいました。生徒たちも精一杯の姿で、今までの取り組みを披露していました。

3年生は、「春日への貢献」をテーマに、環境、特産品、伝統文化、福祉などについて学習成果を発表しました。そして、1年生は『カリブ夢の旅』、2年生は『少年時代』の合唱を発表しました。その他にも、選択音楽の演奏、全校合唱、職員合唱、また、美術作品や選択教科の作品展示など、午後からの発表ではありましたが、緊張と充実感の入り混じった、生徒の手による楽しい発表会になりました。